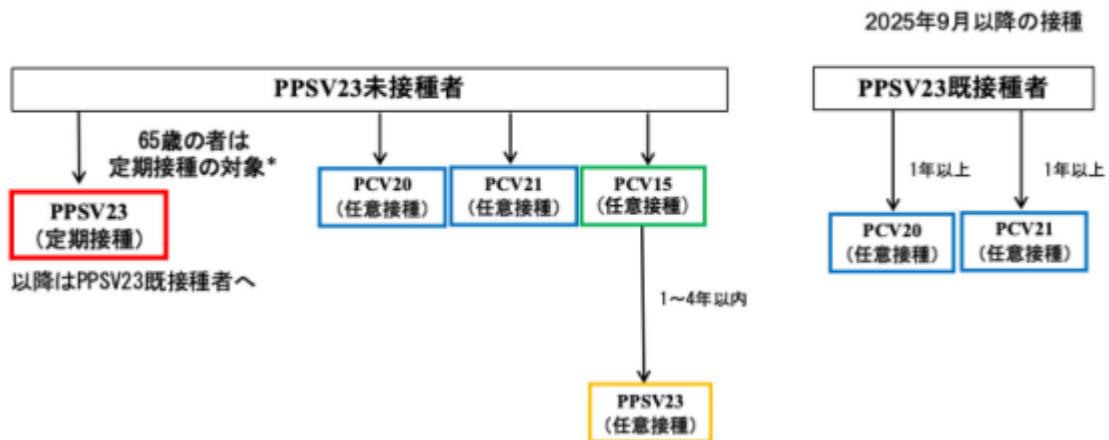


＜肺炎球菌ワクチンの新しい考え方＞

2025年9月、日本呼吸器学会・感染症学会などの専門家委員会から、**65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種の新しい考え方**が示されました。

図. 65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種の考え方(2025年9月) (日本感染症学会/日本呼吸器学会/日本ワクチン学会 合同委員会)



日本呼吸器学会 65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方
(第7版 2025年9月30日) より一部抜粋

PPSV23: ニューモバックス® PCV20: プレベナー 20®

PCV21：キャップバックス® PCV15：バクニュバンス®

【ポイント】

- ・ニューモバックス接種後は1年以上あけて、プレベナー20®やキヤップバックス®といった「結合型ワクチン」の接種を推奨
 - ・ニューモバックスを5年毎に繰り返すことは推奨しない

＜結合型ワクチンについて＞

プレベナー20[®]やキャップバックス[®]は「結合型ワクチン」と呼ばれるワクチンで、

- 免疫が長く続きやすい
 - 体が菌を「記憶」しやすい
 - 高齢者の重症肺炎予防に有利

といった特徴があり、基本的に生涯で一度接種するだけで十分な免疫効果を得られますとされています。

※キャップバックス（2025年10月から接種可能になった日本では新しいワクチン）は高齢者の重症肺炎の原因となりやすい菌型を重点的21種類の型をカバーし、従来のワクチンでは含まれていなかった型も含まれています。結合型ワクチンのため、免疫の質と持続性が期待できます。

※同じ結合型ワクチンの「プレベナー20®」はこれまで多く使われてきた実績があり、肺炎球菌全体をバランスよくカバーするという特徴があります。（2026年4月から65歳の肺炎球菌ワクチン定期接種ではこちらが使用されます。）

＜今後の肺炎球菌ワクチンについて＞

- **2026年3月までは**

65歳になったら公費でニューモバックス®を接種し、1年以上経過したらプレベナー20®またはキャップバックス®を追加接種（任意接種＝自費になります。）をお勧めします。

- **2026年4月以降は**

- 65歳の方→プレベナー20の定期接種
- 65歳以上で初めて肺炎球菌ワクチンを接種する方、もしくは過去にニューモバックスを接種して1年以上たっている方→自費でプレベナー20またはキャップバックスの接種をお勧めします。

＜費用＞

- **ニューモバックス：4,000円**

（65歳以上、定期接種の場合：2026年3月で終了となります。以後は在庫も置きません）

- **プレベナー20：11,000円（自費、税込）**

2026年4月から65歳の定期接種で使用されます。

定期接種の自己負担額は発表があり次第掲載します。

- **キャップバックス：13,200円（自費、税込）**

★キャップバックスについては取り寄せになるため、ご希望の方は事前にお電話でお知らせください。